



令和元年度 保護者セミナー

企業、就労継続支援A型事業所に直接聞く！

令和2年2月15日実

就労するために必要なこと



夢ふくおかネットワーク事業「保護者向けセミナー」を福岡市発達教育センターにて行いました。

障がいのある児童や生徒が将来就労して自立するために取り組むべき家庭支援の実践につなげる内容で、障がいのある方を雇用している企業、就労継続支援A型事業所の方を講師としてお迎えし、就労に関するお話や参加者からの質問にお答えしていただきました。

企業 取組紹介

ASKUL LOGIST株式会社 福岡物流センター 副センター長 坂井博基 様

ASKUL LOGIST株式会社 福岡物流センターではダイバーシティの取り組みの一環として障がい者雇用を始め、8年間で43名の障がい者を雇用しています。

アスクルロジストの障がい者雇用は「地域と連携した」もので会社と当事者だけでなく家族・学校・支援機関・医療機関と連携した支援体制を取り、障がい者を戦力として雇用しています。採用については雇用前に実習を行い、「この会社で働きたい」という意欲のある方を雇用し、定着率は75%、即戦力となっているということでした。

家庭での支援については、「社会人になっても継続して行くことが大切です。しかし社会人になると家族の見える範囲は狭くなり、全てのことが家族でできるわけではありません。家族はいろいろな人と連携をし、困ったときには支援を福祉・医療に繋げることが大切です」という事でした。また働くために必要な職業能力は変化するため、「自分がどうなりたいのか考え、努力を続けることが大事」と坂井様がおっしゃっていました。家庭が情報に敏感になり今後に繋げていく必要があるということでした。

家庭での支援

継続すること。

連携すること。

繋ぐこと。

家庭は 最も重要

会話・親子の会話
年齢に合わせた接し方。

自立・自活・就労と生活
を把握し、共に計画。

笑顔・ご両親の表情が、
そのまま会社での表情。

A型事業所 取組紹介

株式会社まきもと 向日葵グループ 代表取締役 牧本貴宏 様

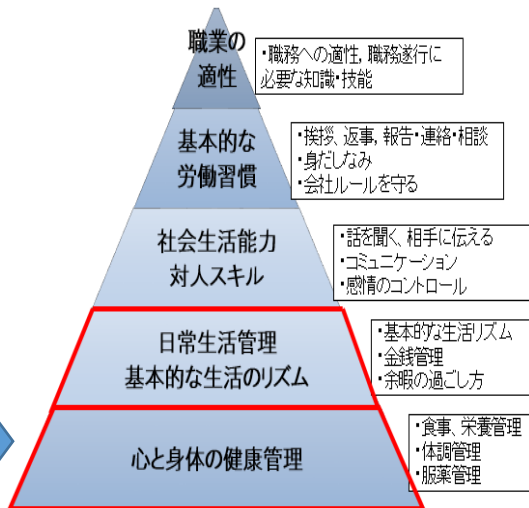
A型事業所は本人の希望・能力を踏まえた支援計画を個別に作成し、最低賃金を支払い、働きながら就労に必要な力を育てていくというものです。牧本様のところでは、それだけではなく本人の意思がどうなのか、どういう希望でA型を希望されたのかを見極めながら雇用し、当事者にご家族に現状を把握してもらい、生きる力を付けさせていっているとのことでした。またA型事業所での就労では見通しを立てておくことが大切で、「本人・家族・支援者がその方の目標を明確にしながらいきなり毎日通っていただくことから始まり、仕事の見える化・指示の分かりやすさ・伝わりやすさを一般企業よりは考慮しながら行なっています。本人の意思・希望を大切に、次へのステップとして施設外就労などで色々な職業を体験して事業所にとどまる事なく鍛

えていくことが必要で、そのような支援をしている事業所を見定めていただきたい」ということでした。

家庭での支援では就労準備性ミラミッドの下から2番目まで(心と身体の健康管理、日常生活管理・基本的な生活のリズム)を家庭で身に付けるよう支援していただきたいと話されました。「事業所に来て頂ければ鍛えてくことができる。送り出してほしい。」とのことでした。

※最終ページに参加者からの疑問質問が多かった就労状況の資料を掲載しております。

就労準備性ピラミッド (高齢・障害者雇用支援機構作成参考)



参加された皆様の感想をご紹介します。

◆ 特支(知的)で働いています。中学部の所属ですが、生徒たちの近い将来について保護者の方と一緒に考えていたり、提案したりできるようになるために、すごく勉強になりました。企業の方から具体的に教えていただいた、働く為に必要な能力については今後学校生活・授業を通して高めていけるようにしたいと思います。

(特別支援学校中学部教員)

◆ 本人の働く意欲、欠勤や遅刻しない、挨拶等を改めてとても大切だと思った。戦力として雇用してもらえるように家族支援をしていきます。A型事業所にとどまらず、ステップアップして成長してほしいと思います。

(中学校特別支援学級保護者)

卒業おめでとう ございます！！

今年も市内特別支援学校高等部生徒たちが新たな希望を胸に、それぞれの学び舎を巣立っていきました。

これまで実習受け入れをはじめ、様々な形で生徒達を応援してくださった皆様には心からお礼申し上げます。

ここで今春、企業・事業所に就職が決まり、新たな第一歩を踏み出した知的障がい特別支援学校6名の卒業生に、社会人としての抱負を語っていただきました。

J R九州パレットワーク株式会社 T. S (福岡中央特別支援学校卒業)

私は将来企業就労をして親孝行をしたいという夢があります。しかし、はっきりと「この仕事がしたい」という職種を見つけられませんでした。そんな時JR九州パレットワーク株式会社で実習させていただき、様々な仕事を体験しました。仕事内容は社内郵便の仕分け・集配、ななつ星アメニティグッズの準備、PDF(電子化)、ポスター巻き、博多駅寝室清掃、会議室設営、清掃です。実習で社内郵便の仕分け・集配が好きになり、「ここで働きたい」と思いました。就職が決まった時は大変嬉しかったです。お給料をもらったら、母と祖母に親孝行をしたいです。これから社会人としての自覚をもち、一步一步進みます。早く職場に慣れ、同僚と一緒に上司の方に教えていただきながら、少しでも早く頼りになる社員になれるように頑張ります。

A T Uホールディングス株式会社 丸山 大喜 (若久特別支援学校卒業)

私は警備の仕事に就くことになりました。様々な職種の実習に行きましたが、なかなか決めることができずでした。自動車に関わる仕事に興味があったこともあり、交通整理をする警備の仕事に魅力を感じました。

実習では覚えることがたくさんあり、大変でした。また、会社の方にうまく思いを伝えられず感情的になってしまいました。実習先の担当の方や学校の先生方と相談する中で、警備の仕事のことや、この会社でがんばりたいという気持ちが高まり、集中して取り組むことができました。

私は、コミュニケーションがあまり得意ではありませんが、社会人として、この会社で成長できると感じています。責任ある仕事なので不安もありますが、勉強して任せてもらえる警備員になりたいと思っています。

ご指導いただいた先生方、いつも応援してくれたみなさん、本当にありがとうございました。

J R九州パレットワーク株式会社 岩村 飛寿（屋形原特別支援学校卒業）

私は、J R九州パレットワーク株式会社に就職が決まりました。3年生になって、2回実習をしました。実習では朝礼で元気な声であいさつしたり、目指す姿や行いを唱和したりしました。仕事は社内郵便の仕分け、日報を各部署に配達する業務、清掃、ポスター発送などがありました。清掃は博多駅の駅員の方の寝室も行い、シーツ交換が大変でした。私は中でもポスター発送するためにポスターを巻く仕事が好きになりました。他の仕事も自分に合っており、実習生や社員の方と一緒に是非働きたいと思い志望しました。

学校生活の3年間でいろいろなことを教えてくださった先生方のおかげで就職できたので、とても感謝しています。これからは社会人として職場の力になれるように頑張りたいです。

アクト事業所（就労継続支援A型事業所） 鈴木 健人（東福岡特別支援学校卒業）

私は卒業後、アクト事業所で働くことになりました。2年生の時から4回実習に行き、「ここで働きたい」と思うようになりました。仕事内容は、検品・包装・配送などのクリーニング業務と施設外就労でのダンボールの解体、オリコンの組み立てです。

私は、働くために遅刻や欠席をしないこと、朝昼晩しっかり食べて生活のリズムを整えること、自分から相談することを目標に頑張ってきました。今後は、早く仕事を覚えて支援員になれるよう努力していきたいです。お給料をもらったら、貯金して家族と食事や旅行に行きたいです。

先生方、今までいろいろとご指導してくださりありがとうございました。支えてくれた家族には本当に感謝しています。

アクト事業所の皆様、これから一生懸命頑張ります。よろしく願いいたします。

老健センターささおか 奥村 すみれ（生の松原特別支援学校卒業）

高校生活では、6回の実習を経験しました。

人と関わる仕事に就きたいという思いがあり、1年生の時から保育園や病院、清掃や販売業などの仕事を経験しました。どれもやりがいがあって楽しかったです。

その中でも病院の実習で介護補助の仕事をしていただいた時に、私が就きたい仕事はこれだと確信しました。3年生になって強い気持ちをもって老健センターささおかで実習をした時、ぜひここで働きたいと思いました。

仕事は、食事の配膳、入浴補助、レクリエーションの補助、清掃等でした。自分の仕事で利用者さんに喜んでもらえ、沢山の温かい言葉をいただき、とても幸せな気持ちになり、私の一番の理想とする仕事だと感じました。

4月からは新たな場所で、学校や実習先で学んだ事を生かし、自分らしく毎日笑顔で何事にも、負けない強い心をもって一生懸命がんばっていきます。

シモハナ物流株式会社福岡第1営業所 松下 拓朗（博多高等学園卒業）

私は、シモハナ物流に就職することが決まりました。仕事内容は主に商品仕分けの作業です。実習では、商品のケース仕分けとDAS※という2種類の仕分け作業をしました。実習の中で、私は仕分けの番号の確認不足が課題でした。それを改善するために、注意深く確認して落ち着いて作業をするように心がけ、改善に努めました。

職場の方から、荷物の積み重ねの時のパレットと商品のスペースの活用をアドバイスしていただき、上手く作業ができた時にやりがいを感じました。

博多高等学園での3年間は、先生方や職場の方が色々なことを教えてくださり、家族に支えられて成長することができました。働いてお給料をもらったら、家族に贈り物をできたらと思います。

私は、博多高等学園で学んだことを活かし、社会人としての1歩を踏み出します。

※DAS（デジタルアソートシステム）：保管棚ごとに設置されたデジタル表示器に表示された指示数に従って棚付けする、仕分け作業支援システムのこと。

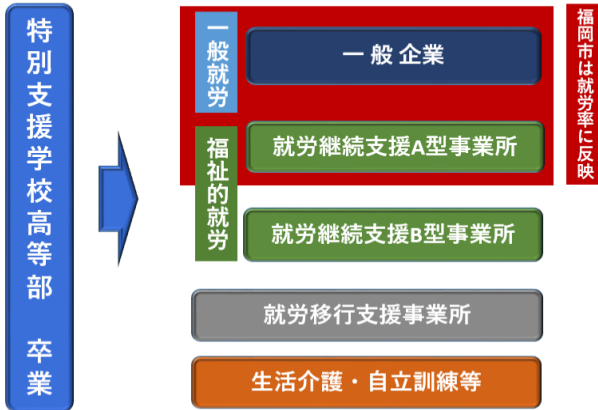


令和元年度保護者セミナー参加者より、疑問質問が多かった項目「高等部卒業後の進路」「職種」「雇用形態等」の資料です。



福岡市立特別支援学校における卒業生の就労状況について

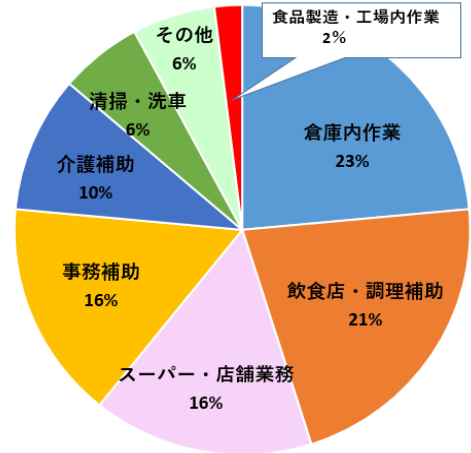
高等部卒業後の進路



一般就労は「一般企業」と雇用契約を結んで就労することで、福祉的就労は雇用契約を結び就労する「就労継続支援A型事業所」と、「就労継続支援B型事業所」があります。

また、就労の為に訓練・求職活動に関する支援を受ける場合は「就労移行支援事業所」へ進み、身辺自立を目指す場合は「生活介護・自立訓練等」に進みます。

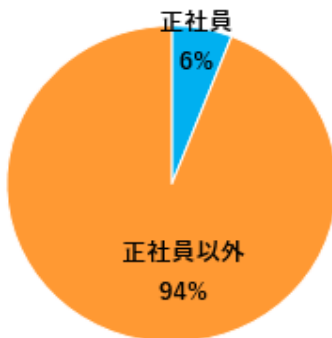
平成30年度卒業生の就労先（職種）



福岡市内はサービス業が多く、就労先も「飲食店・調理補助」や、「スーパー・販売補助」の仕事につく生徒が比較的多くなっています。また近年は介護補助として就労する卒業生が増える傾向にあります。

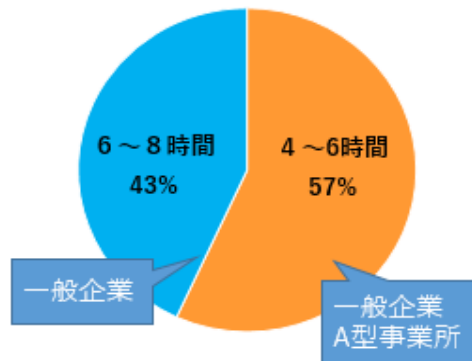
平成30年度卒業生の就労状況

雇用形態



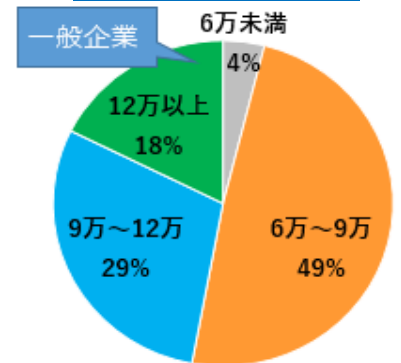
卒業後すぐに正社員となることは少なく、企業によっては就労状況をみながら、ステップアップとして、正社員とするところがあります。

雇用時間/日



一般企業で働くためには長時間働く体力も必要。体力が気になる場合、短時間からはじめ、次第に伸ばしていくという方もいます。

給与/月額



12万円以上はすべて一般企業へ就労した生徒。

※これらの就労状況は3か月、6か月、1年後に見直しが行われることが多く、就労に慣れてきたら、勤務時間が延び、給与がアップする方もいます。

福岡市教育委員会 発達教育センター

福岡市中央区地行浜2丁目1-6
 TEL 092-845-0015 FAX 092-845-0025
 E-mail yume_network@city.fukuoka.lg.jp
 HP <http://www.fuku-c.ed.jp/schoolhp/hattatuc/>

「夢だより」についてのご感想、ご意見などをお寄せください。

※左記参照

